

報道関係各位

プレスリリース

2020年11月25日

株式会社サイ

**世界と日本で累計動員数 1 万人超の小池博史による舞台「注文の多い料理店」
長野県茅野市民館と共催し 12 月 28 日（月）17 時より無料公演・ライブ配信
コロナ禍で進む不寛容社会に警鐘。異文化融合の空間演出法で共生社会と愛の必要性を訴える**

アジア各国の伝統舞踊や演劇・舞踊・美術を融合させた空間演出により、舞台創作事業を展開する小池博史ブリッジプロジェクト（株式会社サイ、本社：東京都中野区、代表取締役：小池博史）は、12月28日（月）、長野県・茅野市民館と共催の映像配信プロジェクトにて、空間演出家・小池博史の舞台「注文の多い料理店」の公演を行います。また、Facebook ページ「Sketch of Japan」にてライブ配信も行う予定です。（URL：<https://www.facebook.com/sketchofjapan/videos>）

※当日の通信状況によっては、生配信から録画配信に切り替える可能性があります。その場合は、後日同 Facebook ページにて動画配信します。



▲舞台写真 奥：荒木亜矢子、左手前：小谷野哲郎、右手前：大塚陽

小池博史ブリッジプロジェクトは、空間演出家・武蔵野美術大学教授、元パパ・タラフマラ主宰の小池博史が立ち上げた舞台や動画作品の企画・制作を行う団体です。アジア各国の伝統舞踊や演劇・舞踊・美術を融合させた多様な演出に定評があり、アジア各国で 19 作品を創作し世界 12 カ国で公演（パパ・タラフマラ時代を加えると 10 カ国で創作、40 カ国で公演）の実績があります。各国の文化や芸術を融合した作風で、最近ではコロナ禍で「異」なるものに対して不寛容になりつつある社会に空間芸術を通じて寛容の重要性を示し、共生社会の必要性を今一度訴えようと試んでいます。

「注文の多い料理店」とは

宮沢賢治の代表作「注文の多い料理店」を空間演出家・小池博史が舞台化した作品です。人間と自然のあり方の深淵部まで降りていく童話を通じて、「人々は自然とどのような関係性を結べばいいのか」という問いを観客に投げかけています。また出演者が人間と動物の一人二役を演じることで、人間と動物の境界がしだいに溶解し、人間も動物と同じ地平に立つことを実感させます。

2012年6月に千葉県流山文化会館で初演し、その後日本全国ツアーの実施や、フィリピン、インドネシア、マレーシア、インド、アメリカ、ミャンマー等、世界38都市で公演し、累計公演数は72回、累計動員数は1万人超の人気作品です。エンターテインメント性の高い空間芸術が年齢や国籍問わず、様々な人から好評を博しています。

出演者は、「完全版マハーバーラタ」にも出演するインドネシアバリ伝統舞踊家の小谷野哲郎、コンテポラリー・ダンサーと女優の荒木亜矢子、コンテポラリー・ダンサーの大塚陽です。

ストーリー

山奥へ狩りにやってきた青年達は嵐に遭い、やっとの思いで森の中にある一軒の西洋料理店を見つける。店内へ入った腹を空かせた青年達は「注文の多い料理店ですから…」という注意書きを好意的に解釈し、次々と注文に従い、扉を開けていく。そのうち一人がどこかへ消えてしまう。残った二人は先の部屋へ進んでいくと、ようやく料理が運ばれてきた。夢中になって食事をする二人だったが、料理のなかから消えた仲間の衣服のかけらを発見し、慌てて料理店から逃げ出す。

小説家：田口ランディ コメント

小池博史さんは「喰らう」ことの喜び、生命の躍動を表現してみせた。舞台上では、自らの命の危機に直面しながらも、いや、あえて恐怖のなかにいるからこそ発現してくる「喰らう」という欲望の哀しさを二人の演者が実に美しく、ユーモラスに表現して見せるのだ。そして……彼らは腹が満たされてきたときに初めて我に返って気づく。「にく」とは何なのか？

演出・脚本：小池博史 コメント

「注文の多い料理店」は2010年12月に岩手の清澄な空気の中で制作を思い立ったものの、3.11により一度制作を断念し、翌年「パパ・タラフマラ」解散後、小池博史ブリッジプロジェクト第一弾作品として世に出しました。

今、人々はコロナ禍の真っ只中にいます。自然災害は防げませんが、原発、コロナともに自然に対しての人間の傲慢さから出た問題とも言え、私たちはいかに自然と向き合うべきかが問われています。本作品は自然と人間を動物の視点から描き出した作品です。

小池博史 プロフィール



空間演出家・作家・振付家・映像作家、「舞台芸術の学校」代表
武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授、茨城県日立市生まれ。
一橋大学卒業。

1982年パフォーミングアーツグループ「パパ・タラフマラ」設立。以降、全
55作品の作・演出・振付を手掛ける。2012年5月解散。その後すぐに「小
池博史ブリッジプロジェクト（HKBP）」を立ち上げ、空間芸術と名乗りつつ、
創造性を核に教育・発信・創作を三本柱とした連携プロジェクトを展開中。
アジア各地で19作品を創作。現在までに、演劇・舞踊・美術・音楽等のジャン
ルを超えた作品群を10カ国で創作、40カ国で公演。

97～04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、国際交流基金特定寄附金審議委
員（05年～11年）等さまざまな審議員、審査員等を歴任。著書として「ロンググッドバイ～パパ・タ
ラフマラとその時代」（2011年、青幻舎刊）、「からだのこえをきく」（2013年、新潮社刊）、
「新・舞台芸術論-21世紀風姿花伝」（2017年、水声社刊）。「夜と言葉と世界の果てへの旅—小池
博史作品集」（2018年、水声社刊）。

開催概要

<公演日時> 12月28日 開場：16:30／開演：17:00

<会場> 茅野市民館マルチホール

<スタッフ・出演>

演出・脚本・振付・構成：小池博史

出演：小谷野哲郎、荒木亜矢子、大塚陽

音楽：中川俊郎、藤井健介

衣装：川口知美（COSTUME80+）

小道具：松島誠、森聖一郎

照明：富山貴之

映像ディレクター、撮影監督：宮下洋一

テクニカルディレクター：鎌田優希

<観覧について> 観覧無料（事前申し込み）

<お申し込み方法> 茅野市民館にて申し込み受付

受付時間：9:00～20:00、火曜休館 ※火曜日が祝日の場合は直後の休日でない日

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222/Fax 0266-82-8223

※未就学のお子様は入場をご遠慮ください

<アクセス>

電車：JR 中央本線・茅野駅下車、東口直結、車：中央自動車道・諏訪 IC より約 12 分

<主催> 株式会社サイ <共催> 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

<お客様からのお問い合わせ先>

小池博史ブリッジプロジェクト・株式会社サイ sai@kikh.com

※新型コロナウイルス感染拡大予防対策のために公演の入場者を制限し、受付にて消毒用アルコールの設置、マスク着用での観覧を求めるなどの予防策を講じて公演します。

ご取材について

以下日程にて、稽古の様子や小池や出演者へのインタビューなどご取材可能です。

ご希望の方は広報 黒田（080-3097-8330 / sai@kikh.com）へご連絡ください。

◆公開稽古（通し稽古あり）：12月25日（金）13:00～19:00

- ・稽古の撮影、ご見学
- ・演出家、出演者へのインタビュー

◆公演当日：12月28日（月）11:00～15:00

- ・リハーサルの撮影、ご見学
- ・演出家、出演者へのインタビュー（公演後を予定）
- ・プレス席のご用意

配信型舞台アートプロジェクトとは



長野県茅野市民会館と小池博史ブリッジプロジェクトが共催し、空間演出家・小池博史の作品を茅野市民館にて公演と配信を実施する取り組みです。観覧料は劇場での観覧と配信共に無料です。

▼株式会社サイ 会社概要

当社は舞台作品やイベントの企画制作会社として1990年設立しました。舞台芸術団体パパ・タラフマラのマネジメント業務をはじめ、ワークショップ事業や展示、グッズ製作事業などを展開しています。2012年パパ・タラフマラの解散に伴い、空間演出家小池博史のプロデュース公演やワークショップ等教育事業、制作業務を請け負っています。

社名：株式会社サイ

設立：1990年3月

代表者：代表取締役 小池 博史

本社：東京都中野区

事業内容：舞台作品、文化芸術イベントの企画制作

URL：<https://kikh.com/>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社サイ 空間芸術：小池博史ブリッジプロジェクト 広報：黒田麻理恵
TEL：080-3097-8330 / 03-3385-2066 MAIL:sai@kikh.com